



杉二だより



令和4年度 夏休み号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



言葉は現実化する ~ 今年の夏休みは… ~

1 学期も終わりを迎えようとしています。コロナの感染防止対策と熱中症対策を実施しながらの教育活動となりましたが、杉二スクールサポートスタッフ（S4）、図書ボランティア、学校支援本部等、多くの方にご協力いただいたおかげで、教育活動を充実させることができました。ありがとうございました。

さて、今年度の学校経営課題を整理すると、以下の3点となります。

- 1 新しい教育目標「やさしくなる しあわせになる」を掲げ、子供ファーストの教育活動を展開すること。
- 2 校舎改築を学びに生かし、多様なアイデアで教育活動を保障すること。
- 3 働き方改革を推進するとともに、成長し続ける教員集団を育成すること。

1については、新しい教育目標をもとに、学級目標を話し合ったり、「やさしさ」や「しあわせ」について考えたりしてきました。その先には、子供の「気づき 考え 実行する」という態度目標を意識した子供ファーストの教育活動をねらっています。特に、クラブ活動や委員会活動、移動教室、異学年交流活動で、子供たちの成長が感じられました。また、青少年赤十字誕生100周年を記念した「ルワンダこども支援募金」には、赤十字の「人道」という考え方を、教育目標「やさしくなる しあわせになる」と結び付けて、実践することができました。ご家庭のご協力に感謝いたします。

2については、水泳の授業において、外部民間施設（ヴィムスポーツアベニュー）を使用し、インストラクターから指導を受けられるようになりました。また、登下校時、休み時間の見守りや体力調査のお手伝い、さらには1年生の授業を中心に、たくさんの保護者の方々に支援をいただきました。これらは、校舎改築があったからこそ、実現できたことだと感じています。

3については、教科担任制を実施したり、通知表を前期後期の2回にしたり、OJT研修を充実させたりすることで、授業を充実させるための働き方改革を行うことができました。また、教師養成塾生等の教育実習生を複数受け入れることで、教職員同士の学び合う姿が多く見られました。

これらのこととは、前々から考えてきたことを、言葉にして発してきたからこそ、実現したものです。「有言実行」の「有言」こそが、自分を前に進め、周りを動かす原動力になると改めて感じています。また、前向きな言葉ややさしい言葉を使えば、自分の気持ちも前向きでやさしくなるし、周りの雰囲気も協力的になります。その反対に、きつい言葉や後ろ向きな言葉を使うと、自分の気持ちを暗くし、周りの雰囲気を悪くします。自分の発した言葉は、良くも悪くも現実化するのです。「やさしい言葉は、しあわせを創る」と感じています。

さて、子供たちは今年の夏休みに、どんなことに挑戦しようとしているでしょうか。夏休みを迎えるにあたって、「想いは言葉にして、何度も発することで現実化する」「言葉を変えると未来が変わる」ということを、伝えたいと思います。